

インドクジャクの若者

クジャクといえば、扇状に広げた立派な飾り羽が特徴的です。この飾り羽は雄だけにあり、雌に求愛するときに広げてアピールします。現在、飼育している雄のインドクジャクは2羽。このうち、立派な飾り羽が生えそろっているのは、成長した1羽だけです。

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



もう1羽—写真—は、平成30年の

6月に生まれ

たばかりの若者です。雄が

成長すると、

飾り羽は1・

5〜1・6羽

ほどの長さ

までなりま

す。でもまだ

若いので、そ

の約3分の1

しかありません

飾り羽まだ未熟 でもいつか…

ん。飾り羽独特の目玉模様の羽も、生えてきていません。

クジャクの繁殖シーズンは、春から初夏にかけてで、この時期の雄はここぞとばかり、飾り羽を目いっぱいに広げます。若い雄も、年上の雄の様子をうかがいながら、一生懸命に広げるんです。

ただ残念なのは、なかなか気に留めてくれる雌がいないこと。同じ舎内にいる他の種類の鳥の気を引こうとすることもしばしばです。まだまだ未熟者だけれど、いちずな姿をみると応援したくなります。

